



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月24日

上場会社名 櫻島埠頭株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9353 URL <https://www.sakurajima-futo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷本 祐介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(経理部担当) (氏名) 藍場 建志郎 (TEL) (06)-6461-5331
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	988	△4.7	51	△44.1	153	△2.6	105	2.4
2026年3月期第1四半期	1,037	12.2	92	270.6	157	120.1	103	106.2

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 983百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 63百万円(△81.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	69.29	—
2026年3月期第1四半期	67.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	13,654	8,974	65.7
2026年3月期	12,203	8,073	66.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 8,974百万円 2026年3月期 8,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	54.00	54.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	—	—	54.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,100	△5.6	140	△33.9	220	△24.4	160	△32.3	104.99
通期	4,280	0.5	250	△0.4	400	△1.2	260	△10.4	170.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	1,540,000株	2026年3月期	1,540,000株
2027年3月期1Q	18,280株	2026年3月期	18,245株
2027年3月期1Q	1,521,738株	2026年3月期1Q	1,516,722株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)のわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により、景気の緩やかな回復基調が続いている一方で、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギーコストや原材料価格の上昇、米国の通商政策の動向や為替相場の変動など先行きは依然として不透明な状態が続いております。

このような情勢のもと、当社グループは、第4次中期経営計画(2024年度～2026年度)「産業構造の変化に対応する次世代ビジネスへのStep2」の下、次世代に残せる事業構造への転換を図りサステナビリティ経営を推進することで、当社グループを取り巻く全てのステークホルダーに貢献することを最重要課題と位置付け、経営環境の大きな変化に対応するため、更なる企業価値の向上に努めております。

産業構造の変化への対応として、必要な投資の検討・実施、また、既存設備への効率的なメンテナンスを実施していくことで、中長期的視点に立った事業ポートフォリオの継続的改善を行うとともに、新規ビジネスを開拓・育成することや地場産業との関係を深め、わが社の強みを生かした付加価値のある仕事を追求し、長期に亘り安定した収益を維持・拡大できる事業基盤の強化に努めております。

ばら貨物については、安定したサービスを継続的にご提供するため、設備の更新工事を進めるとともに、お客様へのより一層の付加価値の高い物流サービスをご提供できるよう、汎用性の高いばら貨物倉庫の新設工事を進めております。液体貨物に関しても、メンテナンスを適時・的確に行い事業の安定性を高めるとともに、タンクの更新・新設を含めた設備投資を検討しております。また、倉庫事業に関しても、パートナー様と連携を強化し、収益改善に向け様々な取り組みを検討しております。

上記の事業活動を踏まえ、当第1四半期連結累計期間の売上高は、988百万円となり、前年同期に比べ48百万円、4.7%の減収となりました。

売上原価は、主にばら貨物セグメントにおける荷役業務及び海上運送業務の減少に伴い荷役関係諸払費が減少したことなどにより、774百万円となり、前年同期に比べ23百万円、3.0%の減少となりました。販売費及び一般管理費につきましては、新システム稼働に伴うランニングコストや減価償却費が増加したことなどから、162百万円となり、前年同期に比べ15百万円、10.3%の増加となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は51百万円となり、前年同期に比べ40百万円、44.1%の減益となりました。また、経常利益につきましては、受取配当金が増加したものの、営業利益の減少に伴い、前年同期に比べ4百万円、2.6%の減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、法人税等の減少により105百万円となり、前年同期に比べ2百万円、2.4%の増益となりました。

セグメント別の営業の概況は、次のとおりです。

(ばら貨物セグメント)

ばら貨物については、荷役業務において、主に石炭やイルメナイトの取扱数量が減少したことなどにより減収となり、ばら貨物セグメントの売上高は475百万円、前年同期に比べ72百万円、13.3%の減収となりました。ばら貨物セグメントの営業損失は31百万円となりました(前年同期は10百万円の営業損失)。

(液体貨物セグメント)

液体貨物については、タンクの稼働率が期初から堅調に推移したことに加え、タンク運営に係る特別作業料を収受したことなどから、液体貨物セグメントの売上高は368百万円となり、前年同期に比べ18百万円、5.3%の増収となりました。液体貨物セグメントの営業利益は149百万円となり、前年同期より1百万円、0.7%の増益となりました。

(物流倉庫セグメント)

物流倉庫については、各倉庫が期初より安定して稼働したことに加え、一部倉庫の料金改定があったことから、物流倉庫セグメントの売上高は138百万円となり、前年同期に比べ5百万円、4.0%の増収となりました。物流倉庫セグメントの営業利益は62百万円となり、前年同期より4百万円、7.6%の増益となりました。

(その他のセグメント)

その他のセグメントの売上高については、売電事業により、前年同期並みの6百万円となりました。その他のセグメントの営業利益は前年同期並みの3百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は13,654百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,451百万円増加しました。これは借地料の支払に伴い前払費用（流動資産その他）が増加したことや、保有する株式の時価の上昇により投資有価証券が増加したことなどによるものです。

負債合計につきましては、短期借入金が増加したことや、保有する株式の時価の上昇に伴い繰延税金負債が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて549百万円増加し、4,680百万円となりました。

純資産合計につきましては、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末に比べて901百万円増加し、8,974百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績や今後の業務計画等を検討した結果、2026年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	617,536	638,903
売掛金	402,344	352,461
リース投資資産	555,175	532,282
貯蔵品	57,282	58,958
その他	77,385	192,864
貸倒引当金	△4,366	△3,992
流動資産合計	1,705,358	1,771,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,353,802	2,355,598
その他	1,305,783	1,403,365
有形固定資産合計	3,659,586	3,758,963
無形固定資産	418,341	411,948
投資その他の資産		
投資有価証券	5,943,522	7,225,076
その他	476,805	487,508
投資その他の資産合計	6,420,328	7,712,584
固定資産合計	10,498,257	11,883,496
資産合計	12,203,615	13,654,974
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	124,094	84,565
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	298,736	298,736
未払法人税等	63,754	31,241
賞与引当金	47,377	25,990
業績連動報酬引当金	8,400	8,400
その他	503,287	520,858
流動負債合計	1,045,649	1,269,791
固定負債		
長期借入金	1,032,148	963,814
繰延税金負債	1,553,513	1,961,287
環境対策引当金	46,352	44,928
退職給付に係る負債	2,858	3,093
資産除去債務	28,350	28,350
その他	421,295	408,792
固定負債合計	3,084,518	3,410,267
負債合計	4,130,167	4,680,058

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	770,000	770,000
資本剰余金	370,582	370,614
利益剰余金	3,453,937	3,477,204
自己株式	△27,263	△27,343
株主資本合計	4,567,256	4,590,475
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,506,191	4,384,440
その他の包括利益累計額合計	3,506,191	4,384,440
純資産合計	8,073,448	8,974,915
負債純資産合計	12,203,615	13,654,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,037,409	988,447
売上原価	797,894	774,341
売上総利益	239,515	214,106
販売費及び一般管理費	147,468	162,686
営業利益	92,046	51,420
営業外収益		
受取利息	125	148
受取配当金	67,776	103,751
その他	4,176	5,378
営業外収益合計	72,078	109,278
営業外費用		
支払利息	5,996	6,616
遊休設備費	896	894
その他	27	2
営業外費用合計	6,920	7,514
経常利益	157,205	153,184
特別損失		
固定資産除却損	700	119
特別損失合計	700	119
税金等調整前四半期純利益	156,505	153,064
法人税、住民税及び事業税	45,342	43,153
法人税等調整額	8,152	4,469
法人税等合計	53,495	47,623
四半期純利益	103,009	105,441
親会社株主に帰属する四半期純利益	103,009	105,441

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	103,009	105,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,925	878,248
その他の包括利益合計	△39,925	878,248
四半期包括利益	63,084	983,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,084	983,689

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ばら貨物	液体貨物	物流倉庫	計				
売上高								
外部顧客への売上高	548,383	349,795	132,843	1,031,022	6,387	1,037,409	—	1,037,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	548,383	349,795	132,843	1,031,022	6,387	1,037,409	—	1,037,409
セグメント利益又は損失 (△)	△10,515	148,106	58,054	195,645	2,840	198,486	△106,439	92,046

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△106,439千円は、各報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ばら貨物	液体貨物	物流倉庫	計				
売上高								
外部顧客への売上高	475,679	368,307	138,110	982,097	6,350	988,447	—	988,447
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	475,679	368,307	138,110	982,097	6,350	988,447	—	988,447
セグメント利益又は損失 (△)	△31,239	149,204	62,489	180,454	3,120	183,575	△132,154	51,420

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△132,154千円は、各報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次の通りであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	96,293千円	106,903千円